

## 評価結果情報



### 受審事業所基本情報

事業所名称	山崎保育園
運営法人名称	社会福祉法人 大阪水上隣保館
福祉サービスの種別	認可保育所
代表者名	理事長／黒川 芳朝 園 長／大岡 育子
定員(利用人数)	120名(150名)
事業所所在地	〒618-0001 三島郡島本町山崎2-1-6
電話番号	075-961-2041
FAX番号	075-961-2141
ホームページアドレス	<a href="http://www006.upp.so-net.ne.jp/yamaho/">http://www006.upp.so-net.ne.jp/yamaho/</a>
電子メールアドレス	<a href="mailto:yamaho@ba2.ne.jp">yamaho@ba2.ne.jp</a>

### 評価機関情報

第三者評価機関名	大阪府社会福祉協議会 福祉サービス第三者評価センター
大阪府認証番号	第270002号
評価実施期間	平成21年10月28日～平成22年1月25日
評価決定年月日	平成22年1月25日
評価調査者氏名(役割)	0501C051(運営管理委員) 0501C052(専門職委員)

## 第三者評価結果の概要

### 評価機関総合コメント

総合コメント	<p>島本町唯一の民間保育園として昭和23年に開園した山崎保育園は、長い歴史の中で建て替えも行われ、山並みや自然に包まれた中、広々と恵まれた施設環境と島本町独自の運営基準のもと、よりよい保育が展開されています。</p> <p>経験豊かな管理者のもと、新しい保育ニーズに対応すべく更なる保育の見直しを行い、人的、物的環境を含めた保育内容の向上と人材育成に向けた組織体制の構築を図っています。</p>
特に評価の高い点	<p>恵まれた施設環境を活用した取り組みが進められ、園内は工夫されたぬくもりが感じられます。食育では子どもたちによる野菜の栽培や、安心・安全の食材を使用した給食や、幼児クラスにおいては食堂スペースのある落ち着いた「食」の環境づくりに努めています。</p> <p>乳児保育の担当制や、幼児クラスの異年齢での保育活動などを通して「子どもが主体」であるという保護者と職員との共通認識を持ちながら、子どもの人権を尊重することを基本姿勢に保育を展開しています。</p>
改善を求められる点	<p>組織全体で質の高い保育サービスを目ざすためにも、職員の共通理解と認識を深め、PDCA(計画、実行、評価、改善)サイクルに基づき組織的、継続的に保育を進められることが期待されます。特に新指針に求められている「評価(園、職員の自己評価、子どもの評価)」については、園内研修を重ね、子どもの成長を確かめ合える職員集団が組織化されるよう、更に目指して行かれることが期待されます。</p>

### 第三者評価に対する事業者のコメント

事業者のコメント	<p>今回評価の機会を得ることができ、課題をいただいた中で、保育計画や実践・子どもの育ちを振り返り、次の保育に向けて改善をはかり、保育の質の向上に向けて職員間の絆や協働性を強め、組織としての見直しを図る貴重な評価を得ることができました。</p> <p>今後、地域の中で求められる保育園として、また、子どもの最善の利益を守るためにも継続的な改善・再構築に取り組んでまいります。</p>
----------	---

## 評価細目 福祉サービスの 基本方針と組織について



事業所名称

山崎保育園

### 理念・基本方針について

判断基準項目	評価結果
理念が明文化されている。	a
理念に基づく基本方針が明文化されている。	a
理念や基本方針が職員に周知されている。	a
理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a
<b>評価機関コメント</b>	
法人の理念や保育理念の内容が充実しており、法人・保育園の使命や目指す方向、考え方を読みとることができます。それらは、園内に掲示されるとともに入園のしおりやホームページにも記載されています。	

### 計画の策定について

判断基準項目	評価結果
中・長期計画が策定されている。	a
中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a
計画の策定が組織的に行われている。	a
計画が職員や利用者等に周知されている。	a
<b>評価機関コメント</b>	
保育園の目指す方向を明示した中・長期計画が幅広い分野にわたり策定されており、実現にむけて計画的に取り組まれています。計画の内容は職員間の研修において周知されています。	

### 管理者の責任とリーダーシップについて

判断基準項目	評価結果
管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a
遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a
質の向上に意欲を持ち、その取り組みに指導力を発揮している。	a
経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a
<b>評価機関コメント</b>	
管理者は自らの役割と責任を自覚し、法人広報誌「水上の友」においても文書化し、職員に表明しています。また、保育園の質の向上に意欲を持ち、人事、労務、財務等の面から現状や課題の分析を行っています。	

## 評価細目 組織の運営管理について



事業所名称

山崎保育園

### 経営状況の把握について

判断基準項目	評価結果
事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a
経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a
外部監査が実施されている。	c
<b>評価機関コメント</b>	
<p>保育園の位置する地域での情報やデータが把握され、中・長期計画や各年度の事業計画にも反映されています。外部監査は実施していませんが、法人内の公認会計士から月1回の会計指導を受け、適正な会計処理に努めています。</p>	

### 人材の確保・養成について

判断基準項目	評価結果
必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a
人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	c
職員の就業状況や意向を把握し、必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a
福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a
職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a
個別の職員に対して、組織としての教育・研修計画が策定され、計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	b
定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a
実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし、体制を整備している。	a
実習生の育成について、積極的な取り組みを行っている。	a
<b>評価機関コメント</b>	
<p>中・長期計画に必要な人材の確保について具体的なプランが明記されています。人事考課については現在、自己評価シートと職務基準の見直しを行っているため実施されていません。今後新たに自己評価シート等を整備し、年1回以上の定期的な評価実施と、職員への結果のフィードバックが求められます。</p> <p>「保育者の仕事」「保育者に求められる専門性」に組織が求める職員の基本姿勢・専門性が明記されています。法人が経営する保育士養成校との連携など、保育実習生の受け入れにも努めています。</p>	

### 安全管理について

判断基準項目	評価結果

緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a
利用者の安全確保のためにリスクを把握し、対策を実行している。	a
<b>評価機関コメント</b>	
<p>事故発生対応マニュアルや感染症対応マニュアルが職員参画のもと検討され、会議等で職員への周知を図っています。また、マニュアルの見直しも行っています。発生してしまった事故などの事例については、職員会議の際に概要や対応などが十分に説明され、事故の再発防止に向け職員間での共有化に努めています。</p>	

#### 地域との交流と連携について

判断基準項目	評価結果
利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a
事業所が有する機能を地域に還元している。	a
ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	a
必要な社会資源を明確にしている。	a
関係機関等との連携が適切に行われている。	a
地域の福祉ニーズを把握している。	a
地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a
<b>評価機関コメント</b>	
<p>地域子育てサークル「ぱんだの家」などの活動を通して、地域との交流を積極的に図っています。また「パンダ通信」などを発行するなど、保育園の有する機能を地域へ発信しています。花の日や感謝祭の際には、保育園の子どもたちがお世話になった方々を訪問し、お花や果物を届けています。</p>	

## 評価細目 適切な福祉サービスの実施について



事業所名称

山崎保育園

### 利用者本位の福祉サービスについて

判断基準項目	評価結果
利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	a
利用者のプライバシー保護に関する規定・マニュアル等を整備している。	a
利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	a
利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	a
利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
苦情解決の仕組みが確立され、十分に周知・機能している。	a
利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a
評価機関コメント	
<p>保育園のしおりに「一人ひとりを大切に保育」について明示されています。また、クラス懇談・個人懇談を定期的に行っています。苦情解決の仕組みが整備され、苦情内容およびその後の対応策、結果については申し出た保護者に配慮した上で、クラス懇談会にて報告しています。</p>	

### サービスの質の確保について

判断基準項目	評価結果
サービス内容について、定期的に評価を行う体制を整備している。	a
評価の結果に基づき、組織として取り組むべき課題を明確にしている。	b
課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	b
個々のサービスについて、標準的な実施方法が文書化され、サービスが提供されている。	a
標準的な実施方法について、見直しをする仕組みが確立している。	a
利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a
利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a
利用者の状況等に関する情報を職員間で共有している。	a
評価機関コメント	
<p>第三者評価受審を機に、幹部会議・第三者評価検討委員会を中心に話し合いが行われています。今後は評価結果について職員全体で共通認識を図る場を設け、職員参画のもと改善策や改善計画を策定する仕組みを構築することが望まれます。</p>	

### サービスの開始・継続について

判断基準項目	評価結果
利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
サービスの開始にあたり、利用者等に説明し同意を得ている。	a
事業所の変更や家族への移行などにあたり、サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a
評価機関コメント	
パンフレットや園のしおり、ホームページにおいて保育園の情報を提供しています。保育に必要な費用の徴収等については、保護者の同意を口頭で得ています。	

#### サービス実施計画の策定について

判断基準項目	評価結果
定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a
利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a
サービス実施計画を適切に策定している。	a
定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a
評価機関コメント	
定められた手順に沿って子ども一人ひとりの状況を把握し、記録しています。指導計画が関係職員の合議のもとに策定され、個別配慮を要する子どもの具体的な課題やニーズも、計画上に明記しています。特に乳児クラスは担当制の保育を実践することで、個別の課題に対応しています。	

## 評価細目 サービス内容基準(付加基準)について



事業所名称

山崎保育園

### 子どもの発達援助について

判断基準項目	評価結果
保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	a
指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a
登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a
健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a
食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a
子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	a
子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a
基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a
子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	a
身近な自然や社会と関われるような取り組みがなされている。	a
さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	a
遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a
子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a
性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a
乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a
長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a
障がい児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a

### 評価機関コメント

子どもの年齢に応じた生活と遊びが、豊かに展開されるための保育環境づくりが細やかに工夫されています。広々とした園庭や地域の自然環境は、子どもたちが開放的に、かつ異年齢保育(縦割り保育)の集団の中で主体的に育ちあう関係に繋がっています。

今後は年齢別の発達を保障する意味からも、新保育所保育指針を基に「養護」と「教育」の内容を具体化した年齢別の年間指導計画を組織的に作成されることが期待されます。食については、アンケートをとるなどして嗜好の把握に努めたり、主食は玄米を使用し、和食を中心のメニューで季節のものを提供するよう努めています。障がい児保育は、園内で特別支援会議を設け、障がい保育を進める上での内容や方法について検討を重ねています。

### 子育て支援について

判断基準項目	評価結果
一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a
家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	a
子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a
虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報は速やかに所長まで届く体制になっている。	a
虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a
一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a
<b>評価機関コメント</b>	
送迎の際の対話や、日常的に情報交換を行っており、個人懇談の機会も設けています。今後も保護者のニーズに向けた保育サービスの向上が期待されます。また、一時保育においては今後も地域に向けた質の高いサービスが期待されます。	

### 安全・事故防止について

判断基準項目	評価結果
調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	a
食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。	a
事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。	a
事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a
不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a
<b>評価機関コメント</b>	
衛生管理や食中毒対応、緊急時の対応マニュアルが整備されています。ヒヤリハットや事故報告書を基に事故の発生要因について職員間で検討し、事故防止に向けて取り組んでいます。今後も安全・事故防止に向けた取り組みを実施し、定期的に検証しながら進めていくことが期待されます。	

### 子どもの発達・生活援助について

判断基準項目	評価結果
体罰等子どもへの不適切な対応が行われないよう、防止と早期発見に取り組んでいる。	a
<b>評価機関コメント</b>	
就業規則に体罰の禁止について明記し、子どもへの不適切な対応が行われないよう防止と早期発見に努めています。今後も職員相互の理解の下、子どもの発達と生活援助への取り組みが期待されます。	

# 利用者調査結果



事業所名称

山崎保育園

## 利用者(保護者)への調査結果

### 判断基準項目

調査対象者	山崎保育園を利用中の保護者
調査対象者数	130世帯
調査方法	アンケート調査

### 利用者(保護者)への聞き取り等の結果(概要)

山崎保育園を現在利用している保護者130世帯を対象に調査を行いました。送迎の時間を利用して保育園から調査票を配布してもらい、回収は評価機関へ直接郵送する形をとり、57世帯から回答がありました。(回答率43.8%)  
特に満足度の高い項目として「献立表やサンプル表示などで、毎日給食の内容がわかるようになっている」「懇談会や保育参観など保護者が保育に参加する機会がある」が100%の満足度、「給食のメニューが充実している」「健康診断の結果について、園から伝えられている」「保育園に入園した際に、保育の内容や方法について、説明があった」が90%を超える満足度となっています。